

西脇市保育士等キャリアアップ研修（保育実践分野）

受講者感想 （2020.11.20）

○今回の研修で年齢に合った遊びや、アレンジ等を学ぶことができました。子ども達が興味をもっているものに気付き、「したい!」「遊びたい!」と思えるような遊びの提示方法を工夫することが大切だと感じました。

○今回の研修を通し、子どもにとって『遊び』とは何か、『活動』とは何かということを知ることができました。また、同じ遊びでもオリジナルのルールなどを子ども達と作っていくことも楽しめることにつながったり、考えたりすることにつながるのだなと思いました。子どもが自発的に遊ぶことができるように、日々の保育をしていきたいと思いました。

○全体の遊びを聞き、年齢で異なった育つ力や配慮する点の違いを知ることができ、年齢に応じて遊びの方法や配慮を変えていくことの大切さを感じました。そして子どもが自発的に遊んだり、没頭できる遊びを見つけたりできる保育をしていかなければならないと感じました。

○4、5歳の遊びや11月・冬にしている活動の意見を交換し、レシピにしてみることで、どこが重要なのか、配慮の仕方や、トラブルの解決方法等がよく分かりました。他年齢のレシピでも年齢や時期、クラスの雰囲気合った対応やアレンジがあり、より分かりやすく遊びを理解できると感じました。

○多田先生のお話の中で『遊び=自発活動』という言葉が心に残りました。全く誰からも制限・指示されないことは難しいと思ったのですが、その中で保育者が遊びを伝えていくことが子どもの自由な遊びにつながっていくと分かりました。私のクラスでは朝のままごとの片づけがなかなか進まないことが多いので、満足できるくらいの時間を作りたいと思います。

○他の園の方と意見交換したり一緒にレシピを作ったりすることで、様々な遊びを知ることができて良かったです。「便利な生活は子どもを育てない」という言葉があり、これは覚えておかないといけないと思いました。雑巾ひとつでも今は使わないと聞いて、本当にそうですし、『保育者の何気ない言葉がクラスの雰囲気を作る本当にその通りだと思いました。

○多田先生のお話をお聞きして、「なるほど～」と改めて『遊び』について理解することができました。保育者として子どもの様子をただ見守るだけでなく、先生の方で物事を決めてしまわず、子ども達が主体的に能動的に活動する意欲を大切にしていきたいと思いました。今日は遊びのレシピ作りを考えることで、客観的に見つめ直すことができました。ありがとうございました。

○同じ年齢担任の先生同士で意見を交換したり、共同で作業したりすることが楽しかったです。遊びを通して学ぶことが多くあること、育つ力がたくさんあることを改めて感じることができました。子どもの姿から遊びを考えることの大切さや、子どもの遊びが充実・発展していけるように職員が協力、工夫していきたいです。

○身体を使った遊びのレシピ作りをして、その遊びで何が育つのか、遊び方についてなど改めて考えることができるいい機会になりました。年齢によって遊びの種類も様々あって、いろいろなアレンジ方法を知ることができたので今後に活かしていきたいです。能動的に子どもが参加することで満足感を十分得ることができ、心と体の発達を促すことができるような遊び方を考えて保育していきたいです。

○同じ年齢の先生方と集まって遊びのレシピを考えたことで、ひとつの遊びから様々な状況や子どもの育ち、アレンジ等を考えることができました。また、講師先生のお話を聞き、子どもの自発的な遊びや、思い切って表現できる学級作りの大切さを学びました。

○年齢に合った色々な遊びを提供することで、子どもの育ちが深まると思いました。身体を使った遊びについては、指先から全身運動まで幅広くあることを改めて感じました。色々な遊びを通して心と体が育つことが分かったので、遊びについて工夫していきたいと思いました。

○同年齢担当の先生とグループになって、遊びについて話し合い画用紙にまとめました。自分たちの園と似た遊びをしている園や、おもしろいと思う遊びをしている園もありました。他の園の工夫された遊びを知ることができました。子ども達の遊びがより楽しめるように遊びのヒント（きっかけ）をあたえていこうと思いました。

○今日は、遊びのレシピ作りをしました。じっくり考えてみると、多くのことがひとつの遊びから育っていくのだということを改めて感じました。そしてこのレシピ作りの中で他園の先生方の意見を聞く機会にもなり、気付くことがたくさんありました。自分達の園でもこのようなレシピ作りを取り入れれば、職員同士の遊びの広がりにつながるなと思いました。良い勉強になりました。

○他の園のクラスの様子や、遊びについてレシピを作ったことでイメージが広がり、自分が気付いていなかったことも学べてよかったです。0歳児からの積み重ねで遊びが広がり、自発活動へとつながっていくことを改めて学ぶことができました。遊びが子どもの中でもっとしたい、楽しいと思え、遊びこむことができるよう、子どもと一緒に心も体も成長していきたいと思いました。

○レシピを作ることで、自分の中にあった概念や思い込みに気づき、学びが広がりました。身体を使った遊びの中にも創造力や興味を感じるものがたくさんあり、奥の深さを知ることができました。図にすることによって、理解も深まり、具体的に遊び方を想像できたのでやってみようと思います。発達に合った遊びを提供できるよう考えていこうと思います。

○36の基本動作があることを知り、ガイドブックから調べて、今までしたサーキット遊びに合った動きを探したいと思いました。そしてまだしたことのない動きがあれば、発達に合った動きを考えながら遊びをしていきたいと思いました。もう一度今日のレシピや自分の考えた遊びを振りかえり、今日学んだことと合わせて考えていきたいと思いました。

○保育者は環境の一部であり、私が発した言葉にどのような意味があるのかと無意識な言葉ではなく、常に意味のある言葉を考えながら子どもに声かけをしていきたいと思います。

○子ども達が遊び込めるように環境を整えることや、子ども達の遊びを見ながら臨機応変に保育していかなければいけないと思いました。